

平成23年度

「地域とともにある学校づくり」推進協議会

分科会テーマ

「地域との連携による学校運営の充実」

福岡県春日市立春日北小学校

校長 西山 利 秀

春日北小学校の概要

春日北中ブロック



学級数：16学級

児童数：470人

P T A 数：367人

3つの自治会

須玖北・桜ヶ丘・岡本

春日北小学校コミュニティ・スクールの特徴

平成17年度からコミュニティ・スクールの実践（7年目）

特徴 1

教師・保護者・地域住民が参画する学校運営
（協働責任方式）

特徴 2

地域・校区における「共に育てる（共育）」風土の醸成
（目標の共有・役割分担の相互補完）

特徴 3

学校運営協議会と4つの課題別コミュニティ組織の確立

3

学校運営協議会の機能と仕組

実働組織

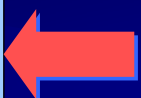
生活力アップ

学力アップ

安全力アップ

体力アップ

提案



意見承認

学校運営協議会

学校代表 4名

保護者代表 3名

地域代表 5名

学識経験者 1名

行政代表 2名

+ オブザーバー 3名

説明



意見承認
評価

学校

・学校経営方針

・教育活動

・学校評価

実働組織の4つの課題別コミュニティ



課題別コミュニティの活動内容の重点化

これまでの組織と活動内容

生活

- ・早寝、早起き、朝ご飯運動
- ・テレビの約束
- ・きたっこできたかなシート

モラル

- ・校区内クリーン作戦
- ・ペットボトルキャップ集め
- ・あいさつ運動

学力

- ・家庭学習の約束
- ・家庭学習強化週間
- ・参観チェックシート

安全力

- ・校区内安全点検（一斉下校）
- ・安全マップづくり
- ・ふれあい体力アップ週間

現在の重点化した活動内容

生活力

- ・あいさつ運動

学力

- ・家庭学習の充実

安全力

- ・校区内安全点検（きたぴい下校）

体力

- ・ふれあい体力アップ週間



課題別コミュニティの構成メンバー

これまでの組織とメンバー

生活

- ・保護者代表 3名
(環境保健・広報・きたっぴい)
- ・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計9名

モラル

- ・保護者代表 3名
(児童文化・教養・きたっぴい)
- ・地域代表 3名・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計12名

学力

- ・保護者代表 6名
(学年委員)
- ・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計12名

安全体力

- ・保護者代表 3名
(地区委員)
- ・地域代表 3名・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計12名

現在の組織とメンバー

生活力

- ・保護者代表 14名
(広報全員・教養全員)
- ・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計20名

学力

- ・保護者代表 21名
(学年全員・児童文化全員)
- ・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計27名

安全力

- ・保護者代表 13名
(地区委員全員)
- ・地域代表 3名・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計22名

体力

- ・保護者代表 21名
(きたっぴい全員・環境保健全員)
- ・地域代表 3名・協議会代表 2名
- ・職員代表 4名 計30名

生活力アップコミュニティの目標と重点取組

めざす子どもの姿

望ましい生活習慣と公德心を身に付けた子ども

主な実践活動

本年度の重点取組 **あいさつ いっぱい みんなで 笑顔!**



PTA主体の挨拶運動!



児童会活動でのあいさつ運動



○金曜日のクリーンデイの実施



小中連携のクリーンデイの実施



○ペットボトルキャップ回収



小中連携のペットボトルキャップ回収

学力アップコミュニティの目標と重点取組

めざす子どもの姿

学習の基礎基本を身に付け、夢や目標に向かって努力する子ども

主な実践活動

本年度の重点取組

家庭学習の充実



学習に集中できる場作り

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

毎月の家庭学習強化週間の実施

項目	内容
目的	家庭学習の重要性を認識し、学習習慣を身につけ、学力向上を図る。
目標	1. 毎日一定時間家庭学習を行う。 2. 教科書や学習教材を大切に扱う。 3. 分からないところは積極的に質問する。
実施方法	1. 保護者が学習環境を整える。 2. 保護者が学習の進捗を確認する。 3. 保護者が学習の楽しさを伝える。

家庭学習の進め方の提示

○ きたっぴい先生・きたっぴいスクール

○ 学習支援学生サポーター



保護者のサポーターによる学習支援システム



福岡女学院大学との連携事業

安全力アップコミュニティの目標と重点取組

めざす子どもの姿

自分の身のまわりの危険に気づき安全に生活することができる子ども

本年度の重点取組

校区内安全作戦！（きたっぴい下校）



地域・保護者が一体となった全校一斉きたっぴい下校

○ 安全マップづくりと配付

○ 保護者による安全指導



毎朝の安全な登校の見守り。

体力アップコミュニティの目標と重点取組

めざす子どもの姿

自分の健康・体力について考えて生活することができる子ども

主な実践活動

本年度の重点取組 基礎体力アップ作戦！



保護者参加のふれあい体力テスト



全校一斉ふれあいジャンプ



全校一斉ふれあいランニング

- 体力アップチャレンジランニング
- 夏休み子ども料理教室
- 縦割り遊びの実施



本校学校評価の基本的考え方

【学校関係者評価】

【学校関係者】

〈構成〉
学校運営協議会委員
(学校代表を除く13名)

〈開催〉
毎月の学校運営協議会の場

・経営方針
・自己評価の
説明、報告



協議



評価・提言

【自己評価】

【学校評価委員会】

〈構成〉
校長、教頭、
地域運営担当者
各課題別コミュニティ代表者

〈開催〉
必要に応じて随時開催

意見聴取



学校職員・児童・保護者の
アンケート調査

情報収集



説明責任
(評価の公表)

計画的・組織的・重点的な評価

透明性のある評価